

令和5年度人権啓発活動について

岐阜人権擁護委員協議会 本巣部会

小学校における人権教室

平成27年度より瑞穂市内の小学校高学年において「人権教室」を実施しています。3年サイクルで市内7小学校での実施です。今年度は、人権週間中の令和5年12月4日に瑞穂市立本田小学校、12月5日に瑞穂市立南小学校にて実施しました。

本田小学校では、まずはじめに放送により全校児童に人権に関するお話の後、5年生6年生の各クラスごとに冊子「種をまこう」を資料に授業が行われました。

「人権教室」後の6年生児童の感想です。

『私は、これからの生活でよいと思ったことを進んで行えるようにしたいです。今回の資料で私の経験と少し同じ気持ちになっている主人公だと思いました。「助けた方がいい?」「やってあげた方がいい?」と思っても行動に移すかどうかで結果は変わります。自分と関わりのない他人でも立場は同じなので、助け合わなければならないと思います。相手が困っているな、様子を変だなと思ったら、どんな場面であっても声をかけたり、支えたりできる大人になりたいです。だれに対しても、相手の権利があるのだから、尊重できるようにしたいです。』

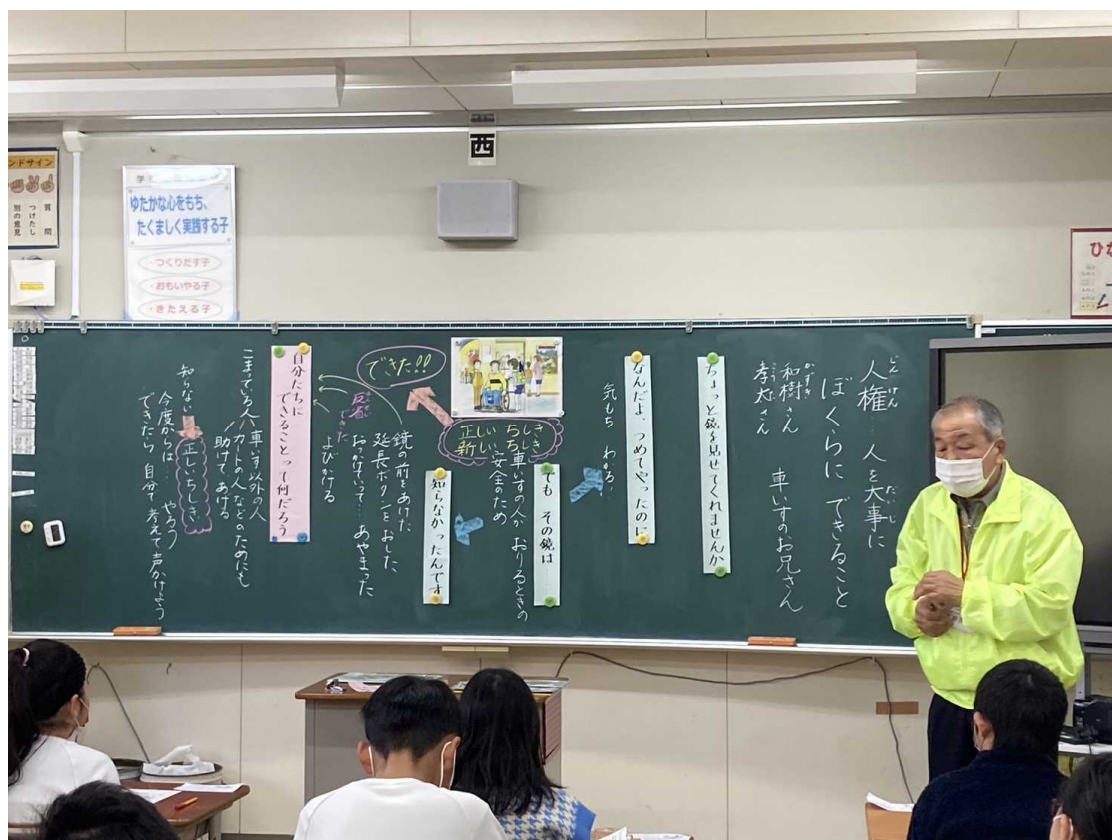


【本田小学校の人権教室より】

南小学校では、高学年に放送で「人権って何？」とお話をした後、4年生のクラスごとに冊子「種をまこう」を資料に授業を実施しました。

4年生児童の感想です。

『「小さな勇気」を読んで、主人公「ぼく」のおばあさんを「助けよう」という気持ちが伝わってきました。人権について思ったことは、自分も親切にしたいと思いました。なのでこれからは、友達だけに親切にするのではなく、地域の人にも親切にしたいです。あと、今回の話のような電車の中だけでなく、どんなときでも人に優しくしていきたいなと思います。』



【南小学校の人権教室より】